

＜錯体化学若手の会ニュース＞ 2016 年度第 1 号

2016 年 5 月発行



錯体化学若手の会事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学大学院理学系研究科化学専攻
草本 哲郎
TEL/FAX: 03-5841-4348
E-mail: kusamoto@chem.s.u-tokyo.ac.jp

錯体化学若手の会ホームページ
<http://www.sakutai.jp/yccaj/>

目次

- (1) 2016 年度事務局よりご挨拶
- (2) 錯体化学若手研究会 錯体化学若手の会夏の学校 2016 のご案内
- (3) 第 66 回錯体化学討論会シンポジウムのご案内
- (4) 各支部勉強会のご案内
- (5) 錯体化学若手の会 2015 年度会計報告
- (6) 錯体化学若手の会 入会手続きのご案内

(1) 2016 年度事務局よりご挨拶

東京大学大学院理学系研究科化学専攻 草本 哲郎

2016 年度の事務局は、代表：草本哲郎（東大院理）、会計：邨次智（名大院理）、次年度事務局：酒田陽子（金沢大院自然）、ならびに近日選定予定である監事の 4 名で担当させていただきます。はじめに、熊本県熊本地方を震源とする地震により被災された皆様、そのご家族の皆様に心よりお見舞い申し上げます。復旧復興が急速に進む中、安全性の高い社会基盤、環境基盤を整備するためには化学の力が重要となってきます。錯体化学を学ぶ者として、技術の革新や学術の深化を通してこれらに貢献していきたいと考えています。

本年度も「夏の学校」、「シンポジウム」や「各支部の勉強会」が開催されます。会員の皆様には積極的にご参加いただき、同世代同士の親睦を深めるだけでなく、普段なかなかお話をする機会がない講師の先生方と積極的に議論をして、自身の視野や研究の幅を広げていただければと思います。

最後に、若手の会が有意義な研究交流の場となり、皆様の研究に対する情熱、知識、意欲が高められるよう努力していきますので、どうぞよろしく願いいたします。

(2) 錯体化学若手研究会 錯体化学若手の会夏の学校 2016のご案内

錯体化学若手研究会 錯体化学若手の会夏の学校2016 世話人

九州大学大学院理学研究院 山内幸正

熊本大学大学院自然科学研究科 大谷 亮

北九州高専物質化学工学科 大川原徹

『錯体化学若手研究会 錯体化学若手の会夏の学校 2016』@熊本 参加受付開始
HP アドレス : <http://www.scc.kyushu-u.ac.jp/Sakutai/Conferences/wakateSS2016/>

このたびの熊本地震により、熊本をはじめとする九州各地でさまざまな被害が発生しましたことに、心からお見舞いを申し上げます。被害に遭われた方々のご苦勞とご心痛をお察し申し上げますとともに、亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。また、全国各地の多くの皆様からの温かいご支援に対しまして、心より感謝申し上げます。

なお、『錯体化学若手研究会 錯体化学若手の会夏の学校 2016』@熊本について、日程や場所等の変更なく当初の予定通り開催することが決定しました。復興に向けて前進する熊本の地で、錯体化学の未来を担う皆様と研究の最前線を走る講師の先生方を交え、泊まり込み形式ならではの深い議論ができればと思っております。参加登録締切は6/10(金)で、受付人数には限りがあります(100名程度)ので、早目の申し込みをお願いいたします。学生やPDによる一般講演(4件程度)の申込についても募集しております。

【日程】平成28年8月5日(金)14時~8月7日(日)正午過ぎ

【会場】火の国ハイツ(熊本県熊本市石原2丁目2-28; <http://hinokuni.com/>)

【参加登録費】一般 27,000円 学生 20,000円

【講師の先生方(順不同)】

阿部正明 先生(兵庫県立大)、岩佐精二 先生(豊橋技術科学大)、植村卓史 先生(京都大)

國武雅司 先生(熊本大学)、島崎優一 先生(茨城大)、西原 寛 先生(東京大)

【参加申込】期限:平成28年6月10日(金) 定員:100名(メールでの申込)

詳細はHP(<http://www.scc.kyushu-u.ac.jp/Sakutai/Conferences/wakateSS2016/>)をご確認ください。取りまとの都合上可能な限り研究室単位での申し込みが助かりますが、受付人数には限りがありますので、個別でご連絡いただいても構いません。

【会場へのアクセス情報】☆飛行機の場合 阿蘇くまもと空港から、シャトルバス(手配予定)で約30分 ☆JRの場合 熊本駅から、シャトルバス(手配予定)で1時間弱

☆車の場合 熊本ICから車で3分(駐車場150台完備)

【問合せ・申込先】 問い合わせは可能な限り E-mail をお願いいたします

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学大学院理学研究院化学部門 錯体化学(酒井)研究室 助教 山内幸正(世話人代表)

TEL: 092-802-4165, FAX: 092-802-4163

E-mail: sakutai-wakate-2016-ss@chem.kyushu-univ.jp

(3) 第 66 回錯体化学討論会シンポジウムのご案内

錯体化学若手の会 2016年度事務局
名古屋大学院理学研究科 邨次 智

次回若手の会シンポジウムは、下記の通り英語セッションで提案し、採択されております。夢の触媒反応への挑戦、というタイトルの下、物質変換の鍵である「基質の触媒活性点への配位」を切り口に、触媒設計と触媒反応について、錯体化学のみならず有機金属化学、触媒化学、有機化学等から幅広く、その分野で精力的に成果を挙げておられる若手～中堅クラスの研究の方々の方に講演をお願いしております。

本年も全て英語講演になりますが、学生や若手研究者を啓蒙し、積極的に議論に参加できるよう、招待講演者には、出来るだけ平易な英語で分かりやすく最新の Chemistry を語っていただくようお願いをしております。

皆様のご来場と活発な議論をよろしく願いいたします。

タイトル：**Challenges for dream catalysis - Design of catalytically active centers from the concept of coordination**

責任者：邨次 智（名大院理）

開催主旨：

A number of useful chemical products have been produced by catalysts and the development of new catalysts is one of the challenging issues in many chemical fields. Reaction starts from the coordination of a substrate to a catalytically active center, and the rational design of the catalytically active center plays a key role in not only increasing molecular activation ability and the selectivity of target product, but also produces totally new reaction pathways and unexpected mechanisms. Metal complexes and clusters, metal oxides, metal nanoparticles, and metalloenzymes are promising units to control substrate coordination for catalytic reaction, and a combination of them would produce unique catalytically active centers from totally new ideas.

This symposium aims to invite researchers who energetically work on the design and preparation of catalytically active centers for innovative catalytic reactions. The symposium focuses on to learn the design of catalytically active centers from multidisciplinary fields, not only from coordination chemistry and organometallic chemistry but also from organic chemistry, catalysis and material chemistry, and biochemistry, and to discuss how the concept of coordination would positively influence on a special molecular activation and catalytic performance. This symposium also aims to provide an opportunity to inspire students and young researchers by coming in touch with multidisciplinary research fields.

招待講演者（敬称略）

鎌田慶吾（東工大応セラ研）、荘司長三（名大院理）、劔隼人（阪大院工）、正岡重行（分子研）、本倉健（東工大院総合理工）

（可能であれば、学会期間中に国内滞在している海外の若手研究者 1 名にも講演を依頼する計画である。）

(4) 各支部勉強会のご案内

○第54回錯体化学若手の会近畿支部勉強会

日時：2016年5月28日(土)12:50～(12:20～受付)

場所：大阪大学 豊中キャンパス 基礎工学部 B300 大講義室

参加費：無料(懇親会費: 学生 2,000円、一般 3,000円)

講演者(順不同)：

堤 治 先生 (立命館大学 教授)

「機能材料としての錯体：分子構造と分子凝集構造制御による多機能・高性能材料の創成」

北尾 岳史 さん (京都大学 北川進研 D3)

「金属錯体ナノ空間を利用した共役高分子の集積構造制御」

北河 康隆 先生 (大阪大学 中野研 准教授)

「量子化学計算による錯体化学へのアプローチ -電子状態・分子構造・物性を例に-

劔 隼人 先生 (大阪大学 真島研 准教授)

「希土類金属錯体を用いた C-H 結合活性化・酸素分子活性化」

持田 智行 先生 (神戸大学 教授)

「金属錯体で創る多機能液体の物質科学」

参加申込等(5/18(水)申込締切)の詳細は <http://www.sakutai.jp/yccaj/>の支部勉強会ページを参照。

問い合わせ先：内藤順也 (阪大院基礎工 直田研 naito@soc.chem.es.osaka-u.ac.jp)

○第9回中国四国地区錯体化学研究会・若手の会中国四国支部勉強会

日時：2016年5月14日(土)13:00～(12:30～受付)

会場：関西学院大学三田キャンパス 7号館 103号教室

参加費：無料(懇親会費: 学生 2,000円、一般 3,500円)

講演者(順不同)：

田中 大輔 先生 (関西学院大学)

「単分子デバイスを志向した分子磁性材料の合成と評価」

久米 晶子 先生 (広島大学)

「電位刺激による触媒反応の展開-選択と接触」

小笠原 一禎 先生 (関西学院大学)

「宝石の色と電子状態~第一原理計算によるルビーの色の理論予測~」

正岡 重行 先生 (分子科学研究所)

「金属錯体を触媒とする酸素発生反応」

阿部 正明 先生 (兵庫県立大学)

「錯体から超分子クラスターへ：錯体が創る形・配列・機能」

問い合わせ先：関西学院大学 三橋了爾 (mitsubishi@kwansei.ac.jp)

○錯体化学若手の会関東支部 前期勉強会 2016 の案内

日時：2016年5月21日（土） 13:30～17:30（受付：13:00～）

場所：東京理科大学 神楽坂キャンパス 2号館 223教室

当日受付、参加費無料（懇親会費別）

講師の先生方（予定、あいうえお順）：

大塩寛紀 先生（筑波大学）

「多重双安定性金属錯体の化学：電子状態の自在変換」

金友拓哉 さん（電気通信大学、石田研究室、D3）

「有機ラジカルを配位子とするランタノイド錯体を用いた単分子磁石の研究」

高野慎二郎 先生（東京大学、佃研究室、PD）

「金クラスターの化学:精密合成とその応用」

張 浩徹 先生（中央大学）

「レドックス活性配位子を用いた錯体機能化学」

Shitao Wang さん（東京大学、藤田研究室、D3）

「Functionalization of metal-coordinated capsules via ligand design」

問い合わせ先：亀渕萌（東京理科大学理学部第一部化学科） hkamebuchi@rs.tus.ac.jp

(5) 錯体化学若手の会 2015 年度会計報告

名古屋大学院理学研究科 郵次 智

2015 年度 会計報告 (2016 年 2 月 25 日現在)

収入	前年度繰越	1,125,870	
	平成 27 年度分会費 (284 名分 (学生))	284,000	※4 名は前年度入金 ※2 名は中途退会 ※2 名が重複入金
	平成 28 年度分会費 (1 名分 (学生))	1,000	
	一般会員からの会費移算分 (63 名分)	63,000	
	普通口座利子等	88	
	収入合計	1,473,958	
支出	支部活動支援金 (北海道・東北)	40,000	
	支部活動支援金 (関東)	40,000	
	支部活動支援金 (中部・東海)	30,000	
	支部活動支援金 (近畿)	40,000	
	支部活動支援金 (北陸)	20,000	
	夏の学校支援金	150,000	
	会員管理アルバイト謝金	60,000	
	通信費、振込手数料	1,478	
	会費返金 (学生 2 名)	2,000	
	世話人会 会議費 (錯体化学討論会)	26,100	
	世話人会 会議費 (日本化学会)	28,000	
	支出合計	437,578	
差引残高		1,036,380	

各支部の会員数と会費納入率 (前年度末比) (2016 年 2 月 25 日現在)

支部名	会員数 (前年度増減)	会費納入者数	会費納入率
北海道・東北	38 (+3)	38	100 %
関東	115 (-12)	115	100 %
北陸	13 (+7)	13	100 %
中部・東海	27 (+9)	27	100 %
近畿	101 (+23)	101	100%
中国・四国	11 (-4)	11	100 %
九州・沖縄	43 (+7)	43	100 %
不明	1 (-18)	1	100% (外国の方と判明済)
全国	349 (+15)	349	100 %

(6) 錯体化学若手の会 入会手続きのご案内

学生の方（新規・更新とも）

- ① <http://sakutai.jp/yccaj/join.htm> から「会員登録フォーム」をクリック
- ② フォームにて必要事項を記入する。
- ③ 年会費 1000 円を以下の口座に払い込む(郵便局振替口座)

口座名義：錯体化学若手の会

口座番号：02200-6-107172

【郵便局以外からの振込みの場合】

店名：二二九 口座番号：当座 0107172

※研究室でまとめて払い込みを行う場合、払込書に入会者全員の氏名を記入してください。

- ④ 事務局で入金を確認次第、ID・パスワードが発行され、会員登録の完了となります。

注：学生会員の場合、自動更新ではないため、更新の場合も年次ごとに登録が必要となります。

学生以外（大学教員・研究者など）の方（新規）

錯体化学若手の会事務局 (sakutai.wakate@gmail.com) にご連絡ください。

学生以外（大学教員・研究者など）の方（更新）

特に手続きは必要ありません。退会しない限り、自動更新となります。

登録に際して集めた情報のうち、本人の同意がある情報に関しては錯体化学若手の会及び錯体化学会の会員名簿冊子に記載されます。平成17年4月より「個人情報保護法」が施行になりましたので、以上をご理解いただき会員登録の際に名簿への記載に関して同意いただけるかどうかを必ず明記いただけるようお願い申し上げます。詳細はHPを参照するか下記事務局までお問い合わせください。

「錯体化学若手の会」とは？

本会は、錯体化学会の支部として錯体化学に関連した分野で研究を行っている若手の研究者（大学・企業・研究所の研究者）及び大学生・大学院生の交流・情報収集を通して、自らの研究に対する情熱と知識を高め、エンカレッジする会です（2015年度若手の会会員数349名）。錯体化学に関心のある方なら、学生・スタッフ・企業人・大学関係者等、資格は問いません。会の活動と会員特典を以下に示します。

- ・錯体化学討論会への学生参加登録資格
- ・錯体化学討論会におけるポスター賞の応募資格
- ・錯体化学夏の学校の開催（会員割引あり）
- ・支部単位の勉強会開催
- ・錯体化学若手の会ニュース（年4回）の配布
- ・若手の会会員名簿の閲覧（名簿記載者のみ）
- ・錯体化学会会員名簿の閲覧（名簿記載者のみ）
- ・錯体化学会誌（BJSCC）の配布（電子版）
- ・錯体化学会のメーリングリストによる全国の錯体化学会員への情報発信

錯体化学若手の会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学大学院理学系研究科化学専攻
草本 哲郎（代表）
TEL: 03-5841-4348
E-mail: kusamoto@chem.s.u-tokyo.ac.jp

若手の会ニュース・メールニュース・Web ページへの記事掲載は事務局 (sakutai.wakate@gmail.com または kusamoto@chem.s.u-tokyo.ac.jp) にご連絡ください。

錯体化学若手の会ホームページ

<http://www.sakutai.jp/yccaj/>

〒464-8602 愛知県名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻(化学系)
邨次 智（会計）
TEL: 052-788-6093
E-mail: smuratsugu@chem.nagoya-u.ac.jp